

卒塔婆女

そういえば

って何なんだ？

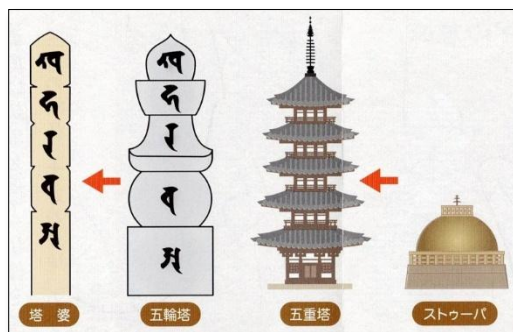
「住職、法事やお盆のたびに建てる、この「卒塔婆」ってのは結局何なんだい？」先日、境内の掃除をしていた時にお参りに来られていたお檀家さんにそんな問いを投げかけられました。

お墓に建てる「卒塔婆そとば（略して塔婆とうば）」はお釈迦様のお墓である仏塔ぶつとうを意味する「ストゥーパ」を音訳したものです。お釈迦様がこの世を旅立たれたあと、ご遺骨は八か所に分骨され、そこに大きな仏塔が建てられました。その後、仏塔はお釈迦様の弟子や信者たちの心の拠り所となり、いつしか、仏塔自体がお釈迦様（仏様）そのものであるという信仰が生まれました。さらに仏塔が中国に伝わると私たちがよく知る五重塔に姿を変え、日本にもその教えが輸入されたというわけです。

ただ、仏塔や五重塔は簡単に建てることができませんね。そこで真言宗では五重塔の代わりに五輪塔ごりんとうという形のお墓（供養塔）が発明され、また、さらにそれをより簡易にということで「卒塔婆」が考案されたのでした（図参照）。

卒塔婆は仏様そのものです。寶泉寺では印刷ではなく一本一本丁寧に書き上げていますので、ご法事に限らずとも、お花やお線香と共に先祖供養の一環として卒塔婆を建てて頂ければ幸いです。

卒塔婆には宗派ごとに様々な教えが付与されています。例えば真言宗では一方の面に**阿風火地**（左からキャ・カ・ラ・バ・アと発音）と記しますが、これは「空・風・火・水・地」というこの世界（仏も私たちも含む）を作る五要素を表しています。より深く知りたい方はお尋ねください！



ストウーパから卒塔婆へ

檀信徒のおつとめを~~ま~~読む 最終回



およそ4年に渡って連載してきた「檀信徒のおつとめを読む」。

今回は最終回として今一度全体をまとめて振り返ってみます。

- ① 朝暮勤行心得…おつとめを始めるにあたっての準備、心構え。
- ② 懺悔文…これまでの行いの懺悔。
- ③ 三帰…仏法僧という三つの宝を大切にしますという宣言。
- ④ 三竟…「竟」は「きわめる」の意。三帰をきわめること。
- ⑤ 十善戒…十の善き戒め。日常生活で習慣とすべき徳目の唱和。
- ⑥ 発菩提心真言…仏として頑張るぞという宣言の真言。
- ⑦ 三昧耶戒真言…仏と私は異なるものではなく、同じ存在だと自覚するための真言。
- ⑧ 開経偈…メインの「お経」を唱える前の賛嘆文。
- ⑨ 般若心経…おつとめのメインディッシュ。⑧までは準備運動。
「般若」は「智慧」の意でその心髄なので般若心経。
- ⑩ 五大願…五つの誓いを述べる。例えば、教えをしっかり身に付けます。仏として全ての衆生を救います等々。
- ⑪ 光明真言…真言＝仏の言葉。經典の文言を翻訳せずそのまま唱える音の力に注目したお経。光明真言は多くの真言の中でも全ての徳を備えたマスターキー的なもの。
- ⑫ 宝号…仏様やお祖師さんの名前の前に「南無」をつけて讃える。
「南無」の語源は「ナマステ」で「大切にします」「お任せします」の意。南無大師遍照金剛は弘法大師空海を大切にしますで、真言宗の最も身近なお経。
- ⑬ 廻向文…これまでおつとめしてきた功德を、自分とは直接縁のない全存在に巡らすためのお経。

世界に意識を向けるための締めくくりの言葉。

以上が、「檀信徒のおつとめ」の内容です。裏面にも観音経などが続きますが余裕があればお唱えください。お時間がない時は「南無大師遍照金剛」だけを唱えるなど無理のない範囲で続けていただければと思います。また、「檀信徒のおつとめ」は無料で配布していますので、ご希望の方はお気軽にお声がけください。



檀信徒のおつとめ

老僧のつぶやき ②③

四国遍路、高野山で締めくくり

高野山のお参りをどうするかで悩んでいるうちに日が経ってしまったが、先月末実行となりました。まずは夜行バスで紀伊勝浦へ、ここを起点に高野山とともに世界遺産熊野古道を歩き熊野本宮大社、熊野那智大社、および西国三十三観音一番札所、青岸渡寺、熊野速玉大社のお参りが今回の旅の行程です。まずは高野山に向かいました。レンタカーは新宮から熊野川右岸の道路をぬうように進みます。兩岸切り立った山の間に川は流れ、この美しさに心を奪われた思いでした。川幅を埋め尽くす河原には1本もの草木は生えず真っ白なまま、青い水の流れとの対比が美しい。紀伊半島は名だたる多雨地帯で良質な木材の産地である反面降雨による氾濫や土砂崩れなどの自然災害も多かったようです。今でも広い川幅を流れて覆われるような増水があるのでしょう。その度ごとに河原が洗い流されて草木も生えないのだと思います。

高野山へはこのような道を北上、海拔0 ㍎から800 ㍎へ山道をたどり奥の院側に到着、奥の院の灯籠堂は工事中で足場に覆われ何も見えず、お大師さま御廟へは脇を回って横からお参りするだけでした。納経を済ませ、数力所のお参りで時間が無くやむなく帰路につきました。

さて翌日は3時間の古道歩きと熊野本宮大社のお参り。古道は熊野三山を中心に伊勢神宮、高野山に至る参詣道として残され、2004年世界遺産に登録されました。そのごく一部をたどるのが今回の目的です。古道は整備され歩きやすく、一部はひなびた山里の舗装路もありポイントには茶店や無人販売の売店も。一部草ぼうぼうの家や雨戸の閉ま



った家屋も目につきました。歩いている人達から聞こえてくる言葉は圧倒的に中国語、台湾なのか中国本土の方なのか、ファミリーがとても多いようです、何度か声を交わしたカップルは香港からでした。 つづく

熊野川中流域

施餓鬼会ミニコンサートのお知らせ

昨年に続いてのミニコンサートです。

今年は「アンサンブル・クーニマス」によるチェロ四重奏をお届けします。「パイレーツオブカリビアン」などの映画音楽からジブリの名曲まで、美しい音色に酔いしれて下さい。

お子さんも大歓迎!!

★日時 8月11日 13時15分～45分

★会場 寶泉寺り洞(無料)



盆供・施餓鬼会

盆供（ぼんこ）は、例年どおり7月21日朝6時～9時に受け付けします。施餓鬼会は8月11日14時開式です（直前にチェロコンサートあり）。

お盆の後の竹などを含むお供物類は庫裡北側の毎年設置している保管場所へお願い致します。その際は可燃、破砕、不燃等ご家庭での普段通りの分別をして頂くと助かります。

また、この時期はハチが出ますのでどうぞご注意下さい！

お盆合同法要

お盆に帰省されたご先祖様のための合同法要を本堂で行っております。申し込みは不要です。どうぞお迎えの際にお気軽にお立ちよりください。

★日時 8月13日 16時開式 ★会場 本堂

※新盆の合同法要は午後2時開式です



編集後記

- ・2025年7月5日に大災害が起き日本が滅亡する。という噂が独り歩きし、実際に観光客が減少も。全く合理的ではない人類の性(サガ)を改めて目の当たりに。
- ・同じ月の後半には参議院選挙が。様々な論が飛び交い見極めが大変だが、世界が少しでも良い方向に進むよう冷静な選択ができるようにしたい。(真了)
- ・先日境内で頭から尻尾まできれいに残した長い抜け殻を見つけた。忘れかけてはいたが今年は巳年、へビは脱皮をするので再生、復活、変化を意味するそう。政治も経済、米をはじめとして温暖化の先も不安材料、吉兆となる変化が欲しい。
- ・去年のスズムシの冬越しがうまくいって大量ふ化、飼ってみませんか？差し上げます。(琴)

Jul. 9. 2025